

目次

5-FU+CBDCA+Pembrolizumab	1
5FU+CDDP+Pembrolizumab	2
CBDCA+PTX	3
CBDCA+PTX+Cmab	4
CDDP併用化学放射線療法	5
C-mab+FP療法	6
C-mab+FU+CBDCA療法	7
Pembrolizumab	8
TPF療法（CDDP）	9
weeklyCBDCA併用化学放射線療法	10
weekly CDDP併用化学放射線療法	11
weekly パクリタキセル	12
セツキシマブ サロタロカンナトリウム	13
ニボルマブ	14
ハーセプチン+ドセタキセル療法	15
静注CF療法	16
動注CF療法	17

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU + CBDCA + Pembrolizumab	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート確保	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液	200mg/body 100mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	アロキシバグ0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
⑤	デキサート注 生理食塩液	3.3mg 100mL	点滴	30分	day2-3
⑥	カルボプラチン注 生理食塩液	AUC=5 250mL	点滴	1時間	day1
⑧	5FU注 生理食塩液	1000mg/m ² 500mL	点滴	24時間	day1-4
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 最大6コースまでとし、 以降はPembrolizumab単剤をPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アプレピタントCPを内服する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU + CDDP + Pembrolizumab	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート確保	day1
②	ペムブロリズマブ注 生理食塩液	200mg/body 100mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液	10mL 500mL	点滴	2時間	day1
⑤	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	1袋 9.9mg	点滴	全開	day1
⑥	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴	30分	day2-3
⑦	マンニトール 300ml	1瓶	点滴	1時間	day1
⑧	シスプラチン注 生理食塩液	100mg/m ² 合計500mL	点滴	2時間	day1
⑨	5FU注 生理食塩液	1000mg/m ² 500mL	点滴	24時間	day1-4
⑩	ソルデム3A	500mL	点滴(側管)	2時間	day1
⑪	生理食塩液	500mL	点滴(側管)	2時間	day2-3
⑫	ソルデム3A	500mL	点滴(側管)	2時間	day1-3

1コースの期間 21日間(3週間)	投与スケジュール及び総コース数 最大6コースまでとし、 以降はPembrolizumab単剤をPDまで継続
--------------------------	---

その他(特記事項など) ・アプレピタントCPを内服する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CBDCA+PTX	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50 mL	点滴	ルート確保 全開で点滴	day1、8、15
②	アロキシバッグ	1袋	点滴	30分	day1、8、15
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg／m ² 250mL	点滴	60分	day1、8、15
④	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=5 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1、8、15
1コースの期間 28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CBDCA+PTX+Cmab	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポラミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50 mL	点滴	ルート確保 全開で点滴	day1、8、15
②	アービタックス 生理食塩液	250mg／m ² (初回400mg/m ²) 250mL(初回500mL)	点滴	60分 (初回120分) (側管)	day1、8、15
③	アロキシバッグ	1袋	点滴	15分	day1、8
④	パクリタキセル 生理食塩液	100mg／m ² 250mL	点滴	60分	day1、8
⑤	カルボプラチン 生理食塩液	AUC=2.5 250mL	点滴	60分	day1、8
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1、8
1コースの期間 21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 6コース 6コース施行後、Cmab維持		
その他(特記事項など)					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CDDP併用化学放射線療法	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
④	生理食塩液 KCL 硫酸マグネシウム	1000mL 20mL 10mL	点滴	4時間	day 1
④	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	50mL 9.9mg	点滴	全開	day 1
③	マンニトール	300mL	点滴	1時間	day 1
③	生理食塩液 シスプラチン	500mL 100mg/m ²	点滴	2時間	day 1
②	生理食塩液 KCL	1000mL 10mL	点滴	4時間	day 1
②	生理食塩液 デキサート注	50mL 6.6mg	点滴	15分	day 2, 3
⑤	生理食塩液	500mL	点滴	2時間	day 2, 3
	生理食塩液 フロセミド	50mL 20mg	点滴	15分	day 2, 3
②	生理食塩液 KCL	500mL 10mL	点滴	2時間	day 2, 3
3週間			3コース		

その他(特記事項など)

・シスプラチンは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして500mLとする。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
C-mab+FP療法	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
④	ポララミン注 デキサート注 ガスター注20mg 生理食塩液	1A 9.9mg 1A 100mL	点滴	30分	day 1
④	ポララミン注 ガスター注20mg デキサート注1.65mg 生理食塩液	1A 1A 2A 100mL	点滴	30分	day 8.15
③	アービタックス 生理食塩液	400mg/m ² (初回のみ) 合計500mL	点滴	2時間	day 1
③	アービタックス 生理食塩液	250mg/m ² 合計250mL	点滴	1時間	day 8.15
②	生理食塩液	250mL	点滴	1時間	day 1
②	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 8.15
①	5-FU 生理食塩液	1000mg/m ² 500mL	持続点滴 (本管)	24時間	day 1～4
②	アロキシバッグ0.75mg	1袋	点滴 (側管1)	全開	day 1
⑤	シスプラチン注 生理食塩液	100mg/m ² 合計500mL	点滴 (側管1)	2時間	day 1
⑥	マンニトール 300ml	1瓶	点滴 (側管1)	1時間	day 1
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日を1コースとして繰り返す FP療法は最大6コースまでとし、 以降はc-mab単剤をPDまで継続		
その他(特記事項など) ・シスプラチン投与日は側管1より更に2L程度の輸液にてハイドレーションを行う。 ・ランダは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして500mLとする。 ・必要に応じ、ラシックス、プリンペラン、ガスター等を使用する。 ・2コース目以降のday1のアービタックスは250mg/m ² を1時間かけて点滴する。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
C-mab+FU+CBDCA療法	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
④	ポララミン注 デキサート注 ガスター注20mg 生理食塩液	1A 6.6mg 1A 100mL	点滴	30分	day 1
④	ポララミン注 ガスター注20mg デキサート注 生理食塩液	1A 1A 6.6mg 100mL	点滴	30分	day 8.15
③	アービタックス 生理食塩液	400mg/m ² (初回のみ) 合計500mL	点滴	2時間	day 1
③	アービタックス 生理食塩液	250mg/m ² 合計250mL	点滴	1時間	day 8.15
②	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 8.15
①	5-FU 生理食塩液	1000mg/m2 500mL	持続点滴 (本管)	24時間	day 1～4
②	アロキシバッグ0.75mg	1袋	点滴 (側管)	全開	day 1
⑤	カルボプラチン 生理食塩液	AUC5 250mL	点滴 (側管)	1時間	day 1
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日を1コースとして繰り返す 最大6コースまでとし、 以降はc-mab単剤をPDまで継続		
その他(特記事項など) ・2コース目以降のday1のアービタックスは250mg/m2を1時間かけて点滴する。					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab単独	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート確保	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液	200mg/body 100mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日			PDまたは患者不耐容まで		

その他（特記事項など）

・ 6週間間隔で投与する場合は、400mg/bodyとする。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
TPF療法(CDDP)	頭頸部扁平上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	5-FU 生理食塩液	750mg/m2 500mL	持続点滴 (本管)	24時間	day 1～5
②	カイトリルバッグ3mg デカドロン注6.6mg	1V 1V	点滴 (側管1)	30分	day 1
③	ドセタキセル注 生理食塩液	60mg/m ² 250mL	点滴 (側管1)	1時間	day 1
④	アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 生理食塩液	1A 1V 2A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day 4
⑤	ランダ注 生理食塩液	70mg/m ² 500mL	点滴 (側管1)	2時間	day 4
⑥	マンニトール 300ml	1瓶	点滴 (側管2)	1時間	day 4
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日を1コースとして繰り返す 2～3コース実施		
その他(特記事項など) ・ランダ投与日は側管1より更に2L程度の輸液にてハイドレーションを行う。 ・ランダは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして500mLとする。 ・必要に応じ、ラシックス、プリンペラン、ガスター等を使用する。 ・ランダの投与日をday3にして実施する場合があります。					

(別紙 2)

がん化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
w e e k l y C B C D A 併用 化学放射線療法	頭頸部扁平上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	パロ/セロンバッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1 V	点滴	30分	day1
②	カルボプラチン 生理食塩液	100mg/m2 合計250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1 瓶	点滴	フラッシュ	day1
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日			毎週投与 5～6回		
その他（特記事項など）					

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
weekly CDDP併用化学放射線療法	頭頸部癌	☐ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☒ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルート確保	day1
②	生理食塩液 KCL 硫酸マグネシウム	500mL 20mL 10mL	点滴	2時間	day 1
③	アロキシバッグ0.75mg アロカリス点滴静注 デカドロン注	50mL 235mg 9.9mg	点滴	30分	day 1
④	マンニトール	300mL	点滴	1時間	day 1
⑤	生理食塩液 シスプラチン	500mL 40mg/m ²	点滴	2時間	day 1
⑥	生理食塩液 KCL	1000mL 10mL	点滴	4時間	day 1
⑦	生理食塩液 デカドロン注	50mL 6.6mg	点滴	15分	day 2, 3
⑧	生理食塩液	500mL	点滴	2時間	day 2, 3
⑨	生理食塩液 フロセミド	50mL 20mg	点滴	15分	day 2, 3
⑩	生理食塩液 KCL	500mL 10mL	点滴	2時間	day 2, 3
⑪	生食シリンジ	10mL	点滴	ロック用	day 1, 2
7日間			6-7コース		

その他(特記事項など)

・シスプラチンは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして500mLとする。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weekly パクリタキセル	甲状腺未分化癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注 ポララミン注5mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開	day1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
③	パクリタキセル 生理食塩液	80mg／m ² 250mL	点滴	60分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1
1コースの期間 7日（1週間）			投与スケジュール及び総コース数		
			PDまで		
その他（特記事項など）					

(別紙2)

がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
セツキシマブ サロタロカンナトリウム	切除不能な局所進行 又は局所再発の頭 頸部癌頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	100 mL	点滴	1時間	day 1
	デキサート注1.66mg	3.3 mg			
	ポララミン注5mg	5 mg			
②	アキラルックス点滴静注	640 mg/m ²	点滴	2時間	day 1
③	生理食塩液	50 mL	点滴	15分	day 1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
4週間			4コース		
その他(特記事項など)					
・光に不安定であり遮光カバーを使用すること					
・光強度は120ルクス以下					
・インラインフィルター使用					
・投与後20～28時間後にレーザー光照射					
・化学放射線療法等の標準的な治療が可能な場合にはこれらの治療を優先すること					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ	頭頸部癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	オプジーボ 生理食塩液	240mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液（フラッシュ）	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日（2週間）			PDまで継続		
その他（特記事項など） インラインフィルター（0.2または0.22 μ m）を使用して投与する。 infusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ハーセプチン+ドセタキセル療法	HER2陽性の根治 切除不能な進行・ 再発唾液腺癌	☒ 進行・再発癌 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法(進行) ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ	3mg	点滴	30分	day1
	ポララミン注	5mg			
	デキサート注	6.6mg			
②	ドセタキセル 生理食塩液	70mg/㎡ 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day1
④	ハーセプチン	6mg/kg (初回のみ8mg/kg)	点滴	30分	day1
	生理食塩液	250mL		(初回のみ 90分)	
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
3週間間隔			PDまで		
その他(特記事項など)					
・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで投与時間を短縮可能とする。					
・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量8mg/kgを投与する。					
・ドセタキセルは初回、2回目は100ml/hで開始、3回目以降は250ml/hで開始、15分以降250ml/hにUP					
・HER2陽性(IHC法3+、又はIHC法2+かつDISH法陽性)に限る。					

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
静注CF療法	頭頸部扁平上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☒ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	5-FU 生理食塩液	750mg/m ² 500mL	持続点滴 (本管)	24時間	day 1～5
④	アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg デカドロン注1.65mg 生理食塩液	1A 1V 2A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day 1
③	ランダ注 生理食塩液	70mg/m ² 500mL	点滴 (側管1)	2時間	day 1
④	マンニトール 300ml	1瓶	点滴 (側管2)	1時間	day 1
⑥					
1コースの期間 21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数 21日を1コースとして繰り返す 2～3コース実施		

その他(特記事項など)

- ・ランダ投与日は側管1より更に2L程度の輸液にてハイドレーションを行う。
- ・ランダは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして500mLとする。
- ・必要に応じ、ラシックス、プリンペラン、ガスター等を使用する。

がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
動注CF療法	頭頸部 扁平上皮癌	☒ 進行・再発癌 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 術前化学療法（進行） ☐ 術後補助化学療法 ☐ その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ヘパリンナトリウム5000単位 生理食塩液	1A 500mL	持続動注 (本管)	24時間	day 1～5
②	ランダ注 ウロキナーゼ6万単位 生理食塩液	10～20mg/m ² 1V 100mL	動注 (側管)	30分	day 1～5

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	5-FU 生理食塩液	750mg/m ² 500mL	持続点滴 (本管)	24時間	day 1～5
②	アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴 (側管1)	30分	day 1
③	マンニトール 300mL	1瓶	点滴 (側管1)	1時間	day 1～5

1コースの期間	投与スケジュール及び総コース数
21日間(3週間)	21日を1コースとして繰り返す 2コース実施

その他(特記事項など) ・ランダ投与日は側管1より更に1.5L程度の輸液にてハイドレーションを行う。 ・ランダは投与量に相当する生理食塩液をボトルから抜いて混合し、totalとして100mLとする。 ・必要に応じ、ラシックス、プリンペラン、ガスター等を使用する。
--